

# 「世界おもちゃサミット」報告

## 『おもちゃで目指す平和な世界』

多田千尋（東京おもちゃ美術館館長）



2013年6月9日(日)、早稲田大学内 国際会議場 井深大記念ホールにて「世界おもちゃサミット」が開催された。日本子ども学会設立10周年記念、東京おもちゃ美術館オープン5周年記念イベントの一つとして位置づけられ、子どもに関する研究から「子ども学」の進歩普及を図ることを目的とする日本子ども学会との共催で企画・運営が行われた。

世界おもちゃサミットとは、国内外の「おもちゃ・子ども・遊び」の研究者・実践者・制作者が一堂に会し、遊び・おもちゃを通じた世界平和を目指すためのおもちゃ会議である。日本だけでなく、海外も併せた世界のおもちゃ文化の向上を目的として、「おもちゃ」を「発達」「環境」「教育」の3つの視点から分析、おもちゃの意義を確認するために、国内外の研究者や実践者、制作者から報告、情報交換を行った。

開会の挨拶の後に、榊原洋一氏（お茶の水女子大学教授）の医学の観点からの「子どもの発達とおもちゃ」などの二つの基調講演が行われた。

午前のプログラムの最後は、オープニングフォーラムにて、世界のおもちゃの制作者、遊びの研究者と実践者による、「グッド・トイ」について意見交換が行われた。登壇者は、ドイツのトイメーカー Hape 社社長ピーター・ハンシュタイン氏、タイのトイメーカー PlanToys 社社長ヴィトゥール・ヴィラポンサバン氏、国立台北教育大学教授張 世宗氏などの5人。自分自身が最も素晴らしいと評価しているグッド・トイの魅力を実際に持ってきていただき、壇上で遊んで見せながら、おもちゃに込めた想いを熱く語る場となった。

午後の第1部「遊びとおもちゃのセッション」では、「発達」「環境」「教育」という3つのテーマに分け、報告、討論を行ない、第2部の「世界の遊びとおもちゃのワークショップ」では、『アクティビティ・トイで遊ぼう!』『エコロジカル・トイで感じよう!』『アーティスティック・トイで触れ合おう!』などのセッションが展開された。

サミットの最後を飾るのはクロージングフォーラム『おもちゃ平和宣言』。オープニングフォーラムに登壇したゲストスピーカーに加え、主催者代表として子ども学会理事長小林登氏と日本グッド・トイ委員会からは私が井深大記念ホールに集結した。来場者はもちろんのこと、セッションを担当した参加者も一堂に会し、自身が考える『おもちゃと世界平和』に関して、発表を行った。そして、おもちゃ・遊びを通じた世界平和を目指すために、今後も良いおもちゃ・良い遊びを提供・実施することを宣言。署名式を行い、参加者全員の想いをひとつにまとめ上げた。感動のフィナーレを迎え、大きな拍手に包まれる中で、式は閉会となった。



● **世界おもちゃサミット概要**

開催日時：2013年6月9日 10時～17時30分

会場：早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール（東京都新宿区）

主催：認定NPO 法人日本グッド・トイ委員会／東京おもちゃ美術館  
／日本子ども学会／チャイルド・リサーチ・ネット（CRN）

**プログラム**

● **開会式**

小林 登（子ども学会理事長）、多田千尋（東京おもちゃ美術館館長）

● **基調講演**

榊原洋一（お茶の水女子大学教授）、春日明夫（東京造形大学教授）

● **オープニングフォーラム「世界のグッド・トイを語る」**

- ピーター・ハンシュタイン（HaPe 社／ドイツ）
- ヴィトゥール・ヴィラボンサバン（Plan Toys 社／タイ）
- テリー・スザーン（アメリカ）
- 稲本正（オークヴィレッジ／日本）
- ジモーネ・フェルバー（Steiff 社／ドイツ）
- 張 世宗（国立台北教育大学／台湾）

● **遊びとおもちゃのセッション**

- 第1セッション）発達と玩具文化
- 第2セッション）環境と玩具文化
- 第3セッション）教育と玩具文化

● **世界の遊びとおもちゃのワークショップ（3セッション）**

- 第1セッション）アクティビティ・トイで遊ぼう！
- 第2セッション）エコロジカル・トイで感じよう！
- 第3セッション）アーティスティック・トイで触れ合おう！

● **クロージングフォーラム「おもちゃ平和宣言」**

私たちは、おもちゃ・遊びの持つ無限の可能性を活かし  
子どもの明るい未来、平和な世界を創造するため  
関係者が一致協力して子どもたちによりよいおもちゃと  
遊びを届ける活動に取り組むことを宣言します。



オープニングフォーラムの様子



グッド・トイセッション



テリー・スザーンさんのプレゼンテーション



おもちゃ平和宣言